

経営比較分析表（令和3年度決算）

宮城県涌谷町 涌谷町国民健康保険病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	11	-	ド訓	救臨輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
15,182	8,569	第2種該当	-	13:1

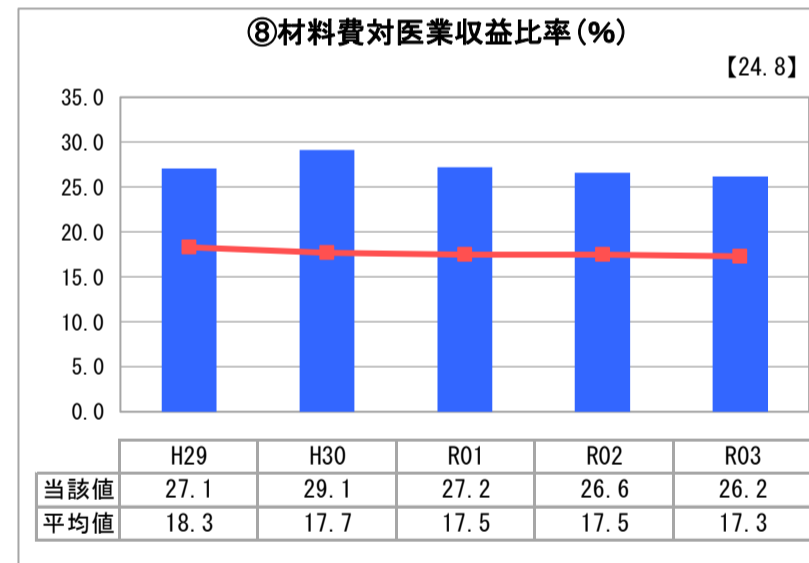
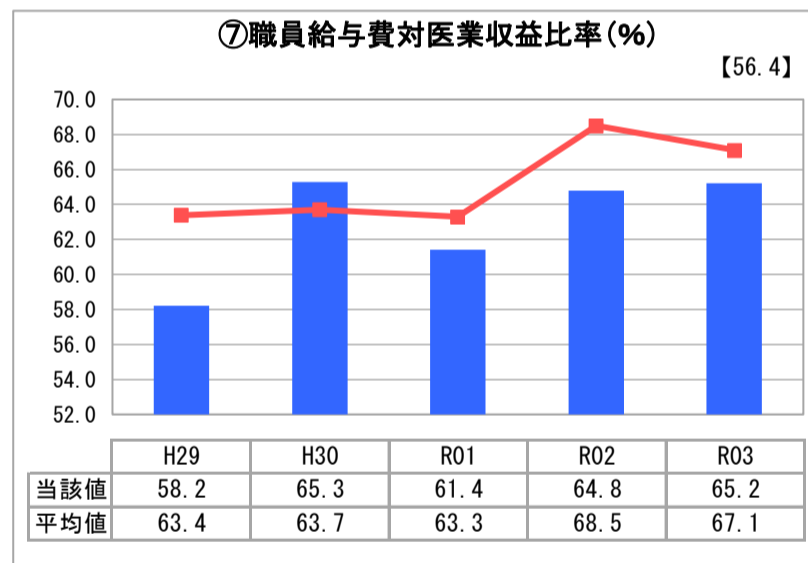
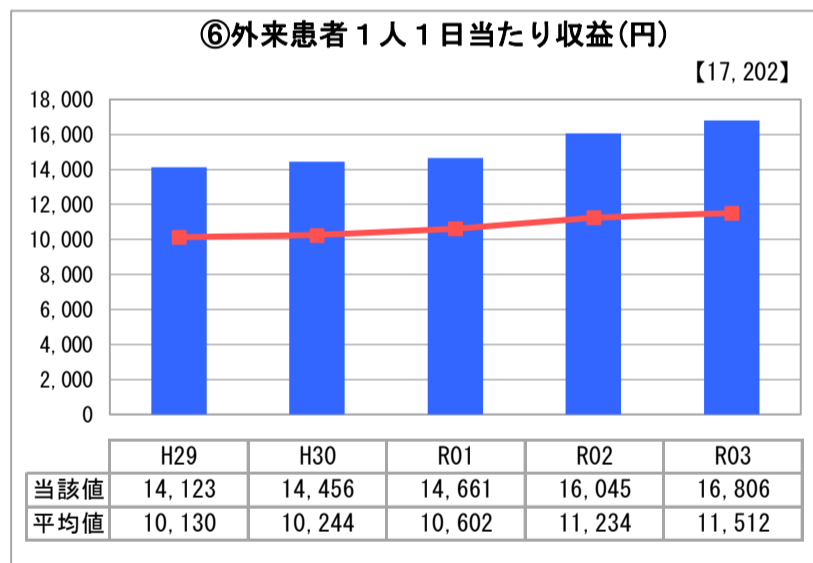
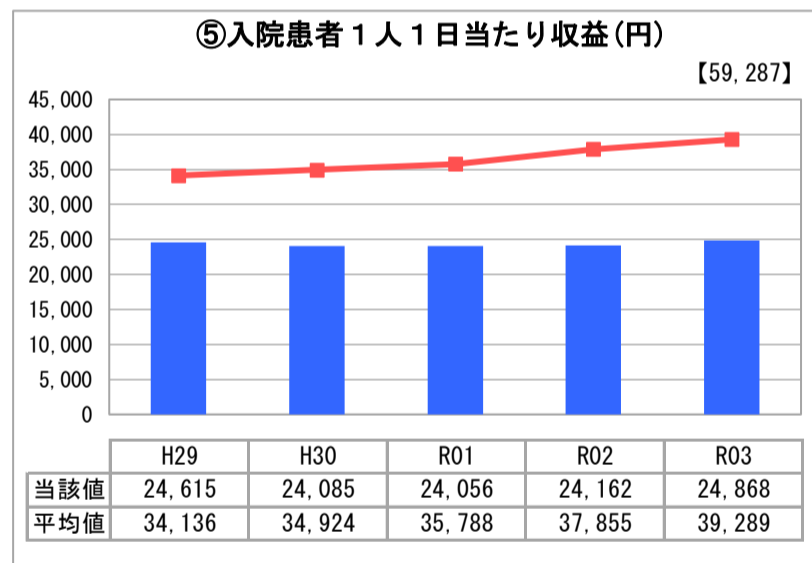
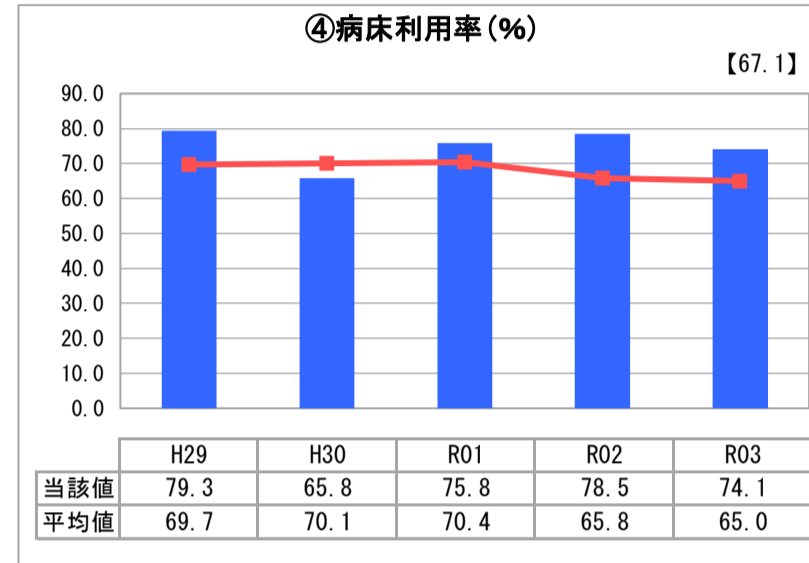
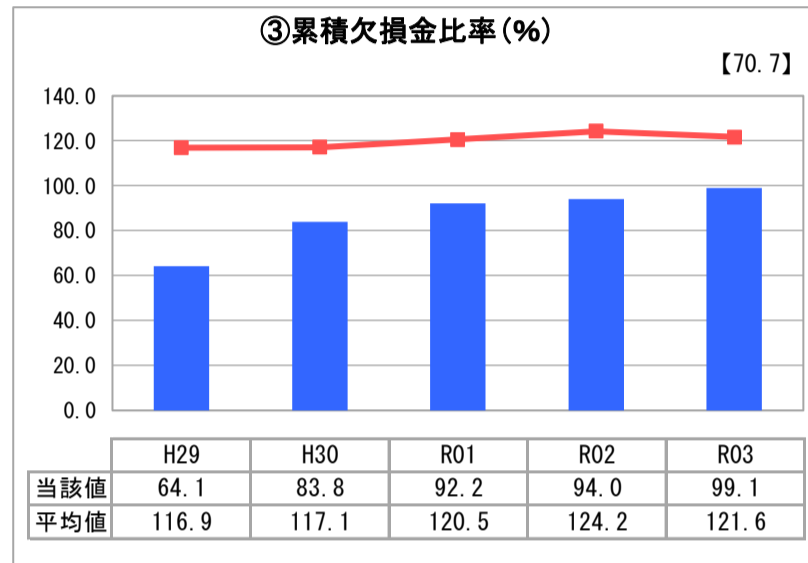
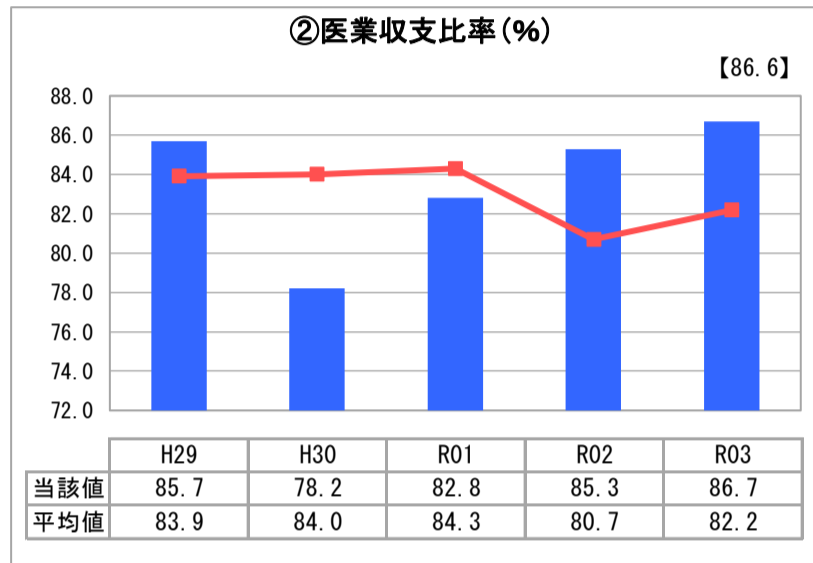
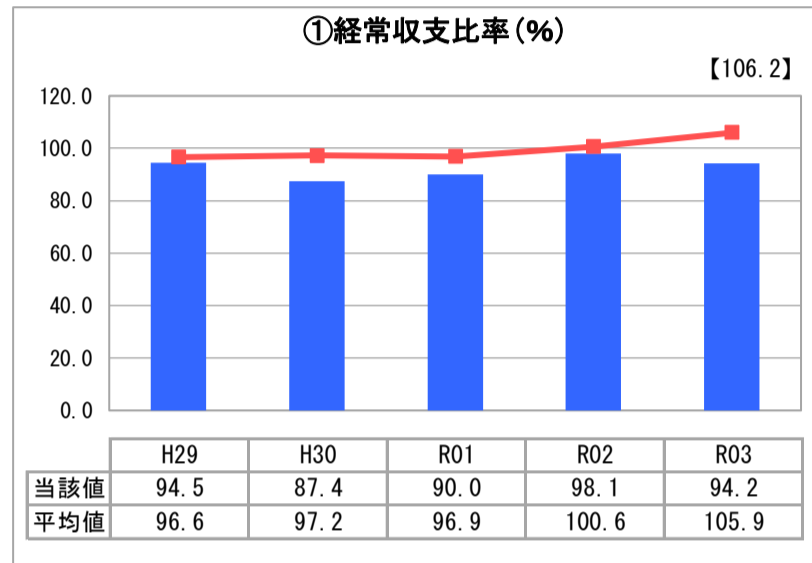
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

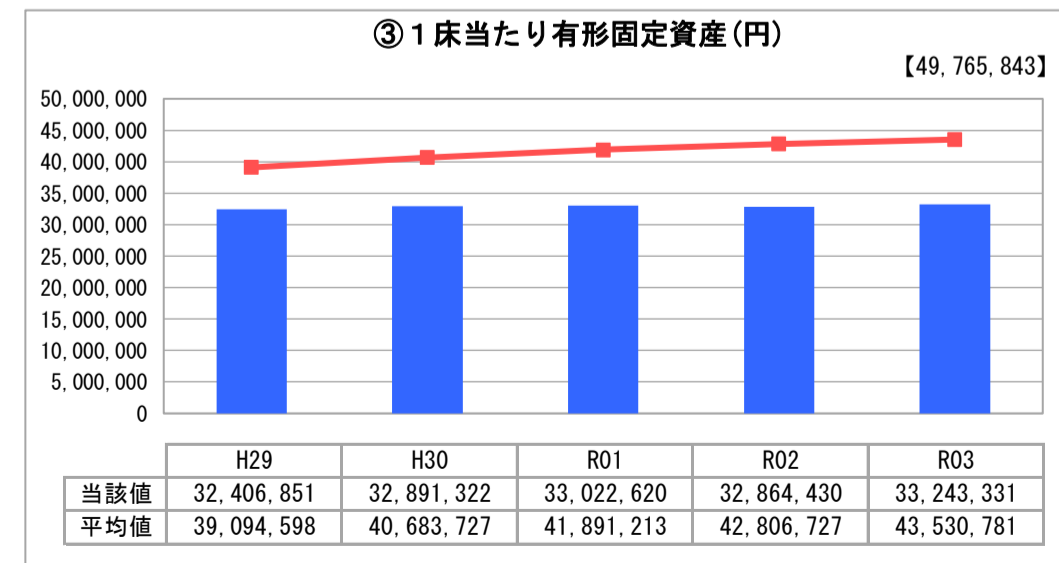
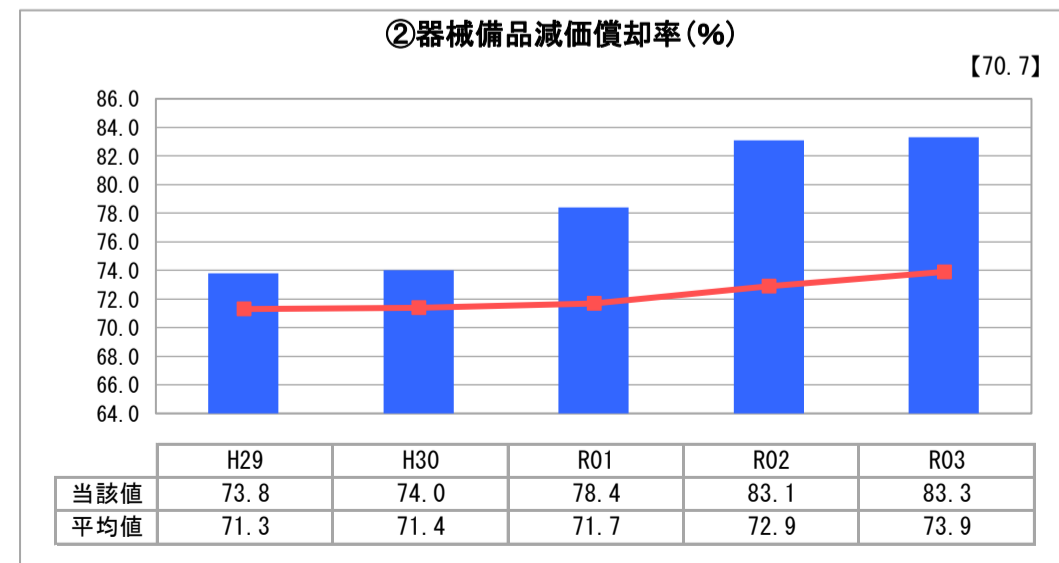
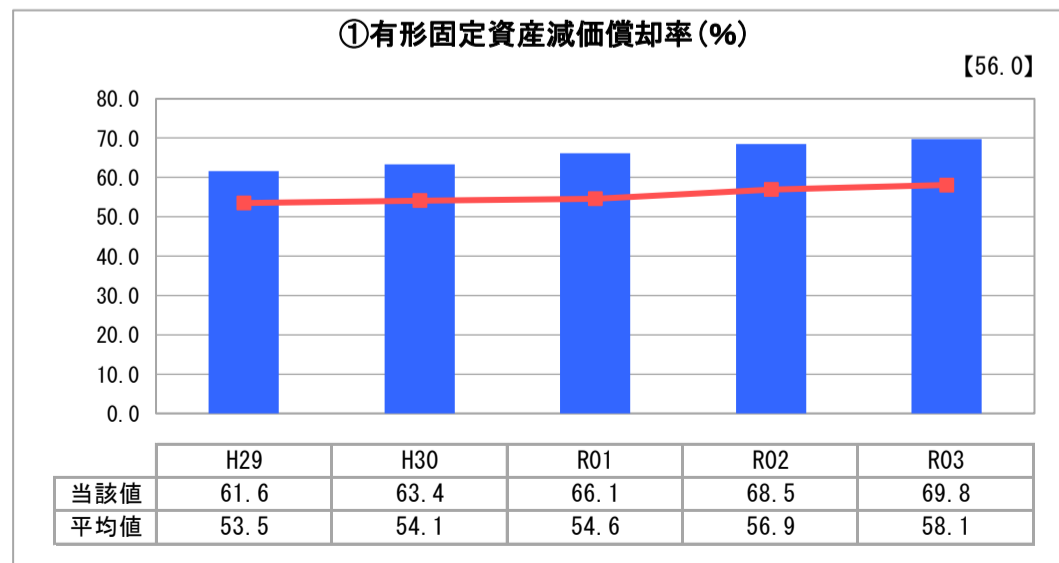
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
80	41	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	121
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
74	36	110

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

町立の病院として、一次・二次医療（急性期の一般患者（内科疾患）や在宅療養患者の受入、医療依存度の高い患者の在宅復帰支援、急性期病院からの受入）の提供、救急告示病院として24時間体制で可能な限り患者の受入を行ってきた。また、併設する老人保健施設や訪問看護ステーションとの連携を図り、切れ目のない支援を提供し、地域医療の中心的な役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

病床利用率の低下により入院収益が減少しているものの、内視鏡やPCR検査数の増により外来収益が増加し、また新型コロナウイルスワクチン接種のプラスの影響もあり、対前年度に比べ医業収益が増加している。また、医業費用についても対前年度に比べ削減したことから、医業収支比率は改善している。しかしながら、医業外収益の負担金交付金の減少の影響が大きくなり、結果として経常収支比率が悪化している。また、材料費対医業収益比率の数値が、類似病院平均に比べ高い状態が続いていることから、薬品費等の見直しの必要がある。

2. 老朽化の状況について

全体的に類似団体や全国平均を上回る高い数値で推移している。設備は建物が開設から30年を経過しているため、不具合が発生する頻度は高まっている。器械備品（主に医療機器）の多くは耐用年数を超え、保守の延長などを行いながら修繕で対応しているケースが多いため、設備と備品の両方で老朽化が進んでいる。

全体総括

令和3年度は、医業収支比率など改善した項目もあったが、厳しい経営状況が続いている。今後は、特に入院収益の増など医業収益の改善を図り、他会計からの繰入金等に頼らない経営を目指す必要がある。

また、施設設備や器械備品の老朽化は引き続き課題として残っているが、経営の安定化を図る上で重要な事項であるため、医療の質の低下や運営に影響が及ぶことのないよう、計画的な更新を行っていく。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。